

信仰と勇気

“イエスは言われた「恐れることはない。ただ信じなさい」”

『マルコによる福音書 5 章 36 節』

ほとんどの人が一個人的に、社会的に、そして靈的に—新型コロナウイルス(Covid-19)・パンデミックの状態に陥っています。「教会」が閉じられていることはどの人にとっても悲しいことです。しかし、主は私たちをご自分の救いの計画の中に必ず置いておられます。

信じることをあきらめてはいけません！今は、辛抱強く勇気を持つときです。イエス・キリストが—主を信じ、勇気を持つことで—十字架に向かった時を想像しましょう。天におられる父はイエスを確実に復活させてくださったのです。だからこそ、私たちは信じ続けて、いつも勇気を持たなければならぬと、イエスは私たちに示されたのです。

十字架上で、イエスは“父よ、御心なら、この杯を私から取りのけてください。しかし、私の願いではなく、御心のままに行ってください”『ルカによる福音書 22 章 42 節』

聖餐の中で、私たちの日常生活を慰めてくださる方として、私たちはイエスと出会います。

神父の方々、ブラザーの方々、シスターの方々、MLC のすべてのメンバーの方々；

皆さま、私たちはこのパンデミックと戦い、疎外されている人々—絶望している人々、弱い立場の人々、意見を述べられない人々—と私たちがともに立ち上がっていることを示しましょう。一人ひとりが主を信じていなければなりません。イエスは私たちに強い信仰を持ちなさいと呼びかけています。そして、私たちは試されているといってパニックにならないよう呼び掛け、私たちの恐れをイエスにゆだねるように望んでおられます。信じて、すべてを委ねましょう。

インドより皆さまによろしく
サンジャイ・サライヤ



MLC 特集—インド編

インドの MLC の種は 1994 年にまかれました。現在 6 グループがあります。シンプール(Singhpur)、ニルマル・ディープ(Nirmal Deep)、ガイアン・ディープ(Gyan Deep)、ビンダ(Binda)、そして南部のアンドラ・プラデッシュ(Andra Pradesh)です。

各グループは活動的で毎月 2 回集会を開いています。集会で、信仰と毎日の生活を分かち合っています。聖書の章句読み(lectio)をします。聖書の言葉を選び、ゆっくり読み、深く考え、グループ内でそれぞれの個人の考えを分かち合います。このようにして、日常生活の浮き沈みを共有します。

四旬節のとき、ビンダ MLC および Br.オーガスタス・スリン SM(ビンダ MLC のメンター(助言者)がすべての MLC のために「瞑想の日」を設けました。



2020 年 3 月 7 日の夕刻 7 時に、ビンダ MLC のメンバーはアシャ・ディープ共同体のお御堂で瞑想を始めました。日曜日に北部から来た全部の MLC グループは瞑想の日のためにボンガブルに行きました。午前 9 時に一日の行程を始めて、午前 10 時 30 分頃に着きました。着いてすぐにマリア・ブルに向けて歩き始めました。それは山上のマリア礼拝堂にあります。ビンダ、ニルマル・ディープ(コランビ)、ラーンチーからの方々が参加し、SM のノビスと彼らの教育担当者が含まれていました。全員で 60 名のマリアニストが参加しました。



マリア礼拝堂までは完全に沈黙を守り、山道を進みながら祈り、イエスの受難を思い出していました。

山頂(海拔約1,000メートル)までほとんど1時間かかりました。山頂に着いたとき、Br.オーガスタスがマリア礼拝堂は大切な場所であることを話してくれました。



私たちは祈りと意向を捧げてから、村の礼拝堂に向けて歩き始めました。村に着くと、村の人たちが私たちを歓迎して水をくださいり、しばし休息しました。その後、イエズス会のサイプリアン・ダン師の司式によりミサを捧げました。



ミサ後、河原で昼食をとりました。とてもきれいな場所でした。木々は緑色で魅力的でした。昼食後、村の礼拝堂で村の人々と共に礼拝しました。お祈りに参加できたことは、村の人たちにとって、素晴らしい出来事になりました。私たちの默想の日はとても実りの多い一日になりました。



恵み (Gift) 昨年、MLCに40名の新しいメンバーが加わり、素晴らしい年でした。

挑戦 (Challenges) 私たちの挑戦は、未だにあらゆる導きとガイドをSMのブラザ一方とシスター方に依存していることです。全体として、最大の挑戦は経済的に弱いということです。しかし、私たちは皆さま、兄弟姉妹の皆さま、世界中のマリアニストの皆さまの愛と祈りに感謝しています。

よろしくお願ひします。

サンジャイ・サライヤ
インド代表